



雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言 ～赤字とコロナ禍を乗り越え、雇用と職場を守り抜こう～

■私たちを取り巻く状況を認識しよう！

JR東日本の2021年3月期第1四半期決算が7月30日に発表され、JR発足以来初めて、営業損失・経常損失・四半期純損失を計上しました。この赤字は新型コロナウイルスによる影響です。新型コロナウイルスの感染者数が少なくなった2020年6月でさえ、鉄道営業収入の対前年比は53.3%となっています。

2020年7月7日、深澤社長が会見を行い、新型コロナウイルスの影響による利用客の減少や生活様式の変化を踏まえ「コロナ以前には戻らない」と語りました。会社は、コロナ禍の対策として人件費や広告宣伝料、設備投資から約1,000億円を削減すると発表していますが、赤字経営解消のために、あらゆる事態が想定されます。

また、ジェイアールバス東北、ジェイアールバス関東においても赤字となり、両社とも組合と協定を締結した上で、雇用調整助成金を申請する事態となっています。他のグループ会社も同様の事態です。

JR東労組中央本部は、この状況は職場の存続や雇用に関わる問題であると、強い危機感を抱いています。

■雇用と職場を守るために、全組合員が実践しよう！

私たちは、組合員の雇用と職場を守るために、赤字とコロナ禍を乗り越え、全組合員と共に黒字経営をつくり出していきます。まずは、全組合員で危機感を共有することからスタートし、鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値基軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指すとする諸施策に対し向き合い、理解する努力を私たちは惜しみません。しかし、「安全・健康・ゆとり」が損なわれる事象に対しては労使議論を通じて解決していきます。

また、直接的な赤字の原因に対する対策を講じ、職場からの議論を通じ全組合員の英知を集め、建設的な提起を会社に行い、雇用の危機に直面した今だからこそ、組合未加入者やグループ会社で働く全ての仲間へJR東労組への再結集を呼びかけていきます。

以上、述べてきた通り、雇用と職場を守るために、以下の提言を全組合員に提起します。

【緊急提言】

1. 全組合員で置かれている現状を認識し、危機感を持つよう！
2. 鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値基軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指す諸施策に対し向き合おう！
3. 「安全・健康・ゆとり」が損なわれる事象は、労使議論を通じて解決していこう！
4. この間、新型コロナウイルスに「感染しない・させない」と私たちが実践してきたことを前提に、職場からの議論を通じ、あらゆる感染症防止対策を行い、鉄道・バスの安全性を訴えよう！
5. 1項～4項を職場で実践し、黒字経営に向けた提言を職場で議論し、政策フォーラム（2020年11月16日）で組織の意思へ高めよう！
6. 雇用の危機に直面した今だからこそ、JR東労組への再結集を呼びかけよう！